

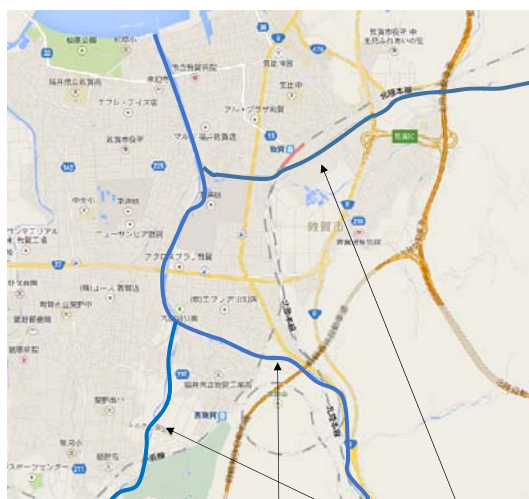
敦賀河川を守る会活動事例報告

(内水面生態系の保全)

平成27年1月23日
於 有楽町朝日ホール

1. 地域や漁業の概要

(1) 地域の概要



(2) 漁業の概要

敦賀河川漁業協同組合の主な漁獲対象魚種はアユとヤマメ等の渓流魚で、**笹の川・黒河川・木の芽川の3河川**に訪れる県内外からの釣り客は年間700人に上る。組合は、**毎年アユを1,050kg、ヤマメ・イワナ等を105kg程度放流**するとともに、簡易魚道の設置や産卵場の保護に努め、天然資源の増加に向けた活動を行っている。

2. 地域の現状・課題

(1) 地域の現状

釣り人口は増加しているが、アユ釣り人口は減少(20年前の半減)と高齢化が進んでいる。
川で遊ぶ子供達(川ガキ)も大きく減少し、近年では魚取りをする子供を見かけなくなった。

河川を利用する人が減少したために、河川敷の草木が増殖し、ごみの不法投棄も増加してきた。
河川組合では、自主的に清掃活動を実施し、河川環境の維持に努めてきた。

しかし、組合員の減少と共に高齢化も進んでおり、清掃活動の拡大は困難となっている。

(2) 活動組織設立に至る経緯

基本的には、河川利用者が増加しない限り、河川環境の悪化が継続することが懸念される。

このような状況から、『水産多面的機能発揮対策事業』により、組合員のみならず市民の参加も得て
河川環境の整備、小学生への教育と啓発を行うことで内水面生態系の保全を図ることとした。

3. 活動組織の概要

(1) 活動組織の発足年月日

平成25年7月31日 活動1年目

(2) 構成員の数と形態

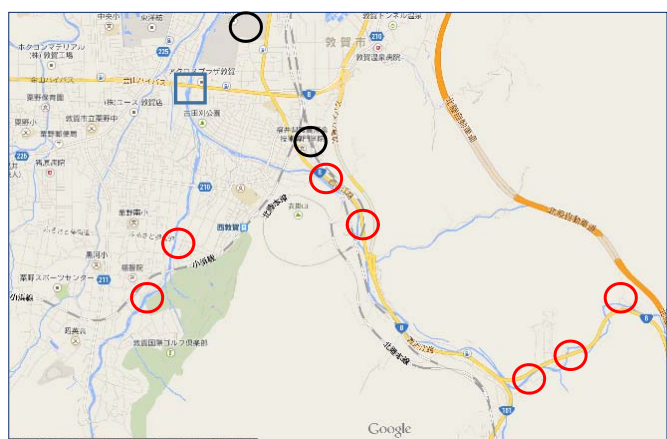
構成員 18名

(内訳: 漁業者11名、漁業者以外7名)

漁業者以外: 小学校校長・区長会代表
子供会代表・子供会指導者代表
ボースカウト指導者代表



(3) 活動位置図



- 河川清掃箇所(7区域)
- 出前教室 (中郷小学校・南小学校)
- アユつかみ取りと試食体験

4.活動の目標と計画

(1)目標

河川清掃と定期的なモニタリング・放流体験と出前教室・アユ掘り取りと試食会等を実施することで、子供達や市民が河川への関心を高めるとともに川や魚への親しみをもたせることで、河川環境の回復を目指す。

(2)年次計画(3ヶ年)

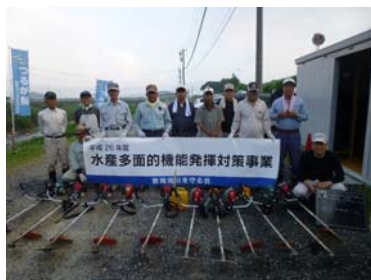
活動項目	活動内容	実施予定年度		
		H25年度	H26年度	H27年度
環境保全	河川敷の草刈とごみ清掃 モニタリング	1	1	1
教育と啓発の場の提供	小学校への出前教室	1	1	1
漁村の伝統文化、食文化の伝承機会の提供	アユのつかみ取りと試食体験	1	1	1

(3)年間スケジュール表

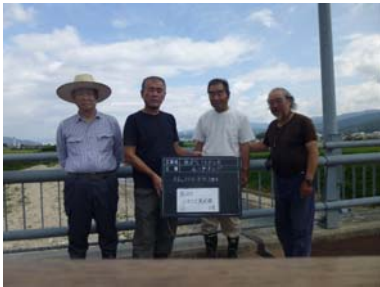
月日	事業	場所
5月16日	鮎放流体験	笹の川 市立中郷小学校、南小学校 145名
7月1日	河川敷草刈	笹の川 衣掛橋下流
7月21日	河川敷草刈	笹の川 奥野橋上下 愛発公民館付近
7月25日	河川敷草刈	笹の川 曾々木
7月28日	河川敷草刈	黒河川 ふるさと橋下流 ゴルフ場橋下流
8月23日	鮎の掘り取りと塩焼き体験	笹の川 250人
8月30日	モニタリング	河川清掃箇所
9月17日	出前教室	南小学校 中郷小学校
9月28日	モニタリング	河川清掃箇所
9月28日	モニタリング	河川清掃箇所
10月27日	モニタリング	河川清掃箇所
11月20日	モニタリング	河川清掃箇所
12月24日	モニタリング	河川清掃箇所
1月	モニタリング	河川清掃箇所
2月	モニタリング	河川清掃箇所
3月	モニタリング	河川清掃箇所

5.発揮活動の実施状況

河川敷草刈と清掃活動(平成26年7月)



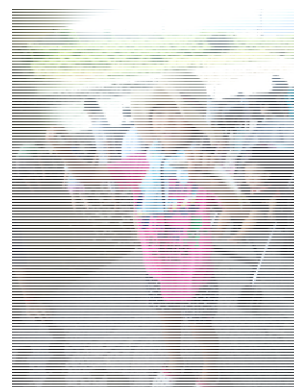
河川敷草刈と清掃活動(平成26年7月)



アユ掴み取りと試食体験(平成26年8月23日(土)午前10時～)



アユ掴み取りと試食体験(平成26年8月23日(土)午前10時～)



捕ったど～！！

早く焼けないかな！

美味～い！！

出前教室(平成26年9月17日(水) 午前・午後)



アユ釣り名人
の釣り教室



軽～い！！

竿折らんといてや！(名人)

出前教室(平成26年9月17日(水) 午前・午後)



アユの生態説明



魚に触ってみよう!

アユの放流体験(平成26年5月16日・組合独自活動)



アユ産卵場の造成(平成26年10月・組合独自活動)



造成前

造成後

6.今後の課題・計画

河川清掃において、清掃結果についてトラックに積んだ状況の記録写真が不十分で、定量的評価が出来なかったことが課題となった。

モニタリングにおいては、観測ポイントを明瞭にするための標識等の工夫が必要と考えられるが、管理区域内であることから河川管理者との協議が必要と考えられる。

小学校出前教室では、放流体験を経験することで、より一層の興味を持たせることが出来るため、次年度も組合独自活動として放流体験イベントを実施する必要がある。

現在、2つの小学校で実施している出前教室の拡大を図っていく必要がある。

アユ掴み取りと試食会については、参加人数の増加を図りたいが、開催場所の確保と安全管理が困難である。